

タグめがけ突進

小中生らラグビー体験

新郷

新郷村教委は1日、同村都市農村交流センター「美郷館」でラグビー教室を開催した。村内の小中学生26人が参加。八戸学院大ラグビー部の選手から指導を受け、タックルの代わりに腰へ付けたタグを取って相手の前進を止める「タグラグ

ビー」などを楽しんだ。

児童生徒生涯学習講座「どよう塾」の一環。同部は地域貢献活動の一環として、小学校やイベントなどでのラグビー指導を毎年数回行っている。

この日は、同部地域貢献リーダーの古川雄貴さん（4年）ら部員5人が村を訪れた。子どもたちは「握

手タグ取り」や「タグ取り鬼ごっこ」などで体を温め、チームには部員も加わり、

その後ミニゲームに挑戦。各

合を楽しんだ。引き続き、

部員たちはラインアウトやパス、タックルなどの技術を

を体演。子どもたちも一部

を体験し、ラグビーの難し

さや楽しさを実感した。

戸来小1年の菊池徠君は「ボールがいろんな方向に

転がり、取るのは難しいけど面白い」と喜んで

いた。（斎藤義隆）